

大津ヶ丘第二小学校 令和2年度 学校評価アンケート結果

保護者アンケートで返信いただいた結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
結果については、今後の学校運営や学校経営方針に反映してまいりますので、ご了承ください。
ご協力ありがとうございました。

設問1 大津ヶ丘第二小学校の教育活動全般に関して、満足していますか。

項目	割合 (%)
とてもそう思う	19.1
そう思う	45.9
どちらかと言えばそう思う	31.8
どちらかといえばそう思わない	3.2
そう思わない	0
全くそう思わない	0

この項目は、肯定的な回答が96.8%と高い評価を得ています。

設問2 学校に期待することを最大3つ選んでください。

	割合 (%)
<u>自分で考え行動する力を身に付ける。</u>	<u>66.8</u>
社会で役立つ実践的な力を身につけること	25.9
<u>同年代の子どもたちと活動することで、人と関わる力を身につけること</u>	<u>45.5</u>
何か達成する経験を積むこと	36.4
失敗から学び、挑戦し続ける経験を積むこと	34.1
<u>基礎学力を身につけること</u>	<u>41.8</u>
社会のマナーやルールを学ぶこと	39.5
規則正しい生活習慣を身につけること	15.9

この項目は、「自分で考え、行動する力を身に付けること」と「基礎学力を身に付ける」ことを学校に期待していることが分かりました。この項目は、教職員のアンケートとも同じ結果でした。

また、「同世代の子ども達と活動することで人と関わる力を身に付けること」は、コロナ感染防止のため、休業していた時期にクラスで活動することができなかった影響もあり、クラスの友達や教職員と関わることで力が身に付けることが大切と考え、学校に期待していることが明確になりました。

設問3 お子さんは、学校での学習内容を理解していますか。

	割合 (%)	
そう思う	26.8	肯定的 90.9%
どちらかと言えばそう思う	64.1	
どちらかと言えばそう思わない	8.2	否定的 9.1%
そう思わない	0.9	

この設問には肯定的な意見がと高い評価を得ています。

設問4 宿題は家庭での学習習慣の定着に効果がありましたか。

	割合 (%)	
そう思う	30	肯定的 84.5%
どちらかと言えばそう思う	54.5	
どちらかと言えばそう思わない	11.8	否定的 15.5%
そう思わない	3.7	

この設問の肯定的な意見は84.5%でした。「学習習慣の定着には宿題が効果的だ」と多くの保護者の方が考えていることがわかりました。

設問5 宿題に関して、頻度や量を減らすべきだと思いますか。

	割合 (%)
そう思う	3.4
どちらかと言えばそう思う	10
どちらかと言えばそう思わない	36.6
そう思わない	50

この設問には、宿題は減らさなくてよいと考えの方が86.6%と多かったことがわかります。

設問6 家庭で自ら進んで学習していますか。(ここでいう学習とは、学校から指定された課題のみでなく、習い事や塾に関わる学習、読書、自分に興味のあることの調べ学習まで含みます)

	割合 (%)	
とてもそう思う	9.5	肯定的 58.2%
そう思う	18.2	
どちらかと言えばそう思う	30.5	
どちらかと言えばそう思わない	25	否定的 41.8%
そう思わない	12.3	
全くそう思わない	4.5	

設問7 お子さんの家庭学習の状況について近いものを選んでください。

	割合 (%)	
宿題があれば進んで取り組んでいる	51.8	合計 83.2%
親が促すと宿題をする	31.4	
自分の興味関心のあることを調べたり 勉強したりしている(読書も含む)	15	
その他	1.4	

設問6・7から、家庭学習については「宿題があれば進んで取り組んだり、親が促すと行ったりする児童が83.2%いるが、自ら進んで学習に取り組むことは58.2%になる。」という課題が明らかになりました。宿題となっている課題は取り組むという児童が多いが、そのほかのことはなかなか自主的に取り組むことが難しいという児童が半数近くになります。

設問8 学校行事に関して、ご自身の意見に最も近いものを選んでください。

選択肢	割合 (%)	結果
子どもの学びとして重要であるため従来通り 毎年すべての行事を実施した方が良い。	44.1	従来通り 44.1%
日々の授業を充実させる方が重要であるため、 各行事の規模を縮小した方が良い。	37.7	縮小または一部中止 55.9%
日々の授業を充実させる方が重要であるため、 一部の行事はなくした方が良い。	18.2	

設問9 運動会について保護者の方のご意見も踏まえて検討したく、ご自身の意見に最も近いものを選んでください。

	割合 (%)	結果
例年通り	28.6	午前・午後使って。 28.6%
午前実施終了後 給食食べて下校	34.1	午前中で終了する。 65.9%
午前で終了し、希望のある家庭のみお弁当	19.5	
令和2年度通り (学年ごとに違う日程2時間程度)	12.3	
その他	5.5	

設問10 校外学習に関して、ご自身の意見に最も近いものを選んでください。

	割合 (%)	
子どもの学びとして重要であるため従来通り毎年実施した方が良い。	46.8	実施してほしい 91.8%
学習上必要なもののみ実施した方が良い。	4.5	
日々の授業を充実させるため、必ずしも実施しなくてもよい	7.3	実施しなくてよい 8.2%
実施しなくてよい	0.9	

設問8・9・10については、柏市内のコロナ感染の状況とコロナ感染防止対策を鑑み、今後どのように学校行事に取り組んでいくかの参考とさせていただきます。

設問11 お子さんは、学級での友達関係に満足していますか。

	割合 (%)	
そう思う	48.6	肯定的 90.9%
どちらかと言えばそう思う	42.3	
どちらかと言えばそう思わない	7.7	否定的 9.1%
そう思わない	1.4	

この設問の肯定的な割合は90.1%となりましたが、そう思わないという家庭の子ども達の気持ちも大切にしていきたいと思えます。天津二小では、いじめ防止基本方針を定め、いじめを未然に防止して「やる気いっぱい 笑顔いっぱい」の学校づくりに励んでいます。ご家庭それぞれのご意見も伺えるよう、個人面談などの機会も設けます。子どものことでご相談がある場合は、学校に電話等でお知らせください。学校にはスクールカウンセラーや養護教諭など担任以外にも相談できる職員がいます。天津二小 電話番号 04-7192-1120

設問12 お子さんは、家族や地域の人、先生や友達に自分から進んで挨拶ができますか。

	割合 (%)	
とてもそう思う	13.2	肯定的 77.8%
そう思う	33.2	
どちらかと言えばそう思う	31.4	
どちらかと言えばそう思わない	18.2	否定的 22.2%
そう思わない	4	
全くそう思わない	0	

この設問については、コロナ感染予防でマスクをしており、大きな声も出せない状況だったという面もあり、否定的な意見が多くみられました。

設問13 学校だより，学年だより，ホームページから学校全体の動きが分かりますか。

	割合 (%)	
そう思う	27.7	肯定的
どちらかと言えばそう思う	63.2	
どちらかと言えばそう思わない	7.7	否定的
そう思わない	1.4	

設問14 学校だより，学年だよりなど学校の全体的な情報発信に関して，従来の紙での配付からホームページやメールを活用した配信に変更することに対してどう思いますか。

	割合 (%)	
賛成	47.3	
反対	5.9	
どちらでもよい	46.8	

13・14の設問で，ホームページやメールでの連絡については，47.3%の方の賛成を得ています。今後のお知らせもホームページやメールを利用していくことが多くなるので，さらに一層のご理解をいただけるよう工夫してまいります。

設問15 面談，単元テストの結果，制作物，通知票から一年を通したお子さんの学習面の状況が分かりますか。

	割合 (%)	
そう思う	35	肯定的
どちらかと言えばそう思う	58.6	
どちらかと言えばそう思わない	5.9	否定的
そう思わない	0.5	

この設問は93.6%のご家庭から肯定的な評価をいただきました。

設問16 部活動に期待することを最大3つ選んでください。

	割合 (%)
自分で考え，行動する力を身につけること	35.9
<u>同年代の子どもたちと活動することで，人と関わる力を身につけること</u>	<u>44.5</u>
<u>何かを達成する経験を積むこと</u>	<u>74.1</u>
<u>失敗から学び，挑戦し続ける経験を積むこと</u>	<u>55</u>
社会のマナーやルールを学ぶこと	25.9
規則正しい生活習慣を身につけること	21.4
技能を向上させること	20.5
特になし	5

設問17 (4年生以上の保護者のみ)文部科学省から部活動のガイドラインが示され、活動が制限されつつある中、大津二小における部活動の方針を検討しています。部活動の頻度として適切だと思うものをお選びください。

	割合	
従来通り	73.9	
コンクールや大会の1か月前～当日	15.7	
部活を行わない	10.4	

(4年生以上の保護者のみ)お子さんは、部活動に参加していらっしゃいますか。

	割合 (%)	
参加している	70	
過去に参加していた	11.7	
参加したことがない	18.3	

(4年生以上の保護者のみ)部活へ朝早く送り出すことは家庭にとってご負担ですか。

	割合 (%)	
そう思う	12.3	
どちらかと言えばそう思う	14	
どちらかと言えばそう思わない	25.4	
そう思わない	48.2	

設問16の結果より、部活動に期待していることとして「何かを達成する経験を積むこと」や「失敗から学び、挑戦し続ける経験を積むこと」が多くの割合を占めています。自分が未経験のことにも挑戦し、失敗したとしてもそこから何かを学べるような経験を積ませたいと期待する方が多いようです。今後は柏市のコロナ感染状況を見て判断することになりますが、どのように部活動に取り組むか話し合う際の参考にさせていただきます。